

複数行での単一の着信番号の設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[パーティションおよび Calling Search Spaces を設定して下さい](#)

[電話の行を設定して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

従来の PBX では、一般的に、単一の電話の異なる回線に対して、同じ着信番号 (DN) の複数のアピランスの設定が可能です。たとえば、ユーザの内線番号が 1002 の場合に、電話機の 3 個または 4 個のボタンがすべて、内線 1002 に対応していることがあります。Cisco CallManager 3.0 では、これを迅速かつ簡単によって実現する方法がありません。単一ライン アピランス上で 2 つ以上のコールを行う機能が使用できるようになるまで、このドキュメントでは、パーティションとコーリング サーチ スペースを使用して、同じ DN と 1 台の電話機で複数の回線を設定する方法を示します。すべての着信コールが回線 1 で開始され、回線 1 が使用中の場合は後続の回線に転送されることをユーザが要望しているとします。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

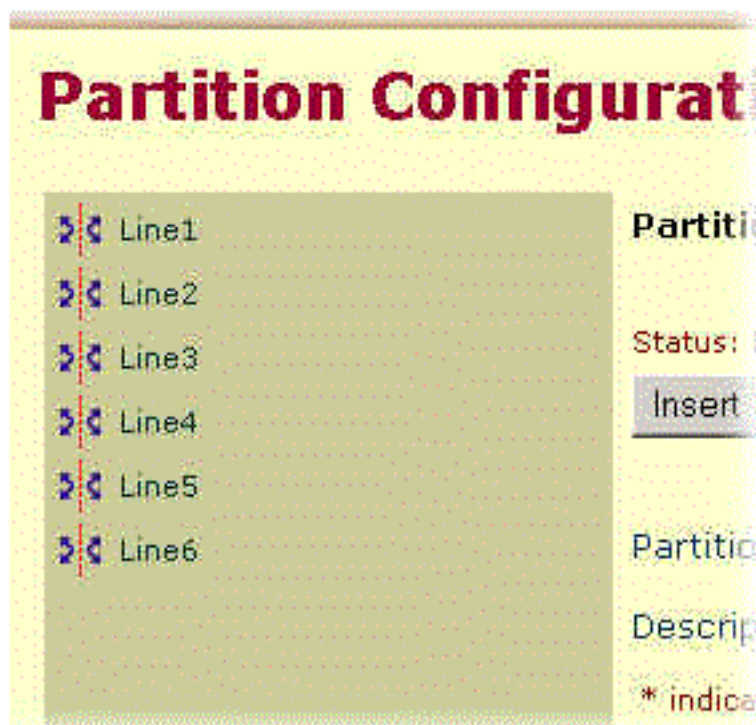
[パーティションおよび Calling Search Spaces を設定して下さい](#)

これをするために、パーティションおよび Calling Search Spaces を使用させます。最初に匹敵

しますあらゆる電話で好む行の最大数の数にパーティションを作成して下さい。Cisco 7960 IP Phone を使用する場合、最大は 6 です。おそらく 6 つまでの行を万一に備えて設定することが最善です。

「行 6」を通して 'Line1 と指名される 6 つのパーティションを作成して下さい。また発信ダイヤリングを同様に制限するために他のパーティションを作成することを選択できますがこれらのトピックはこの資料で説明されていません。

配分を作成するのに Cisco CallManager Administration ウィンドウで **Route Plan > Partition** メニューを使用して下さい。パーティションの名前を入力し、『Insert』をクリックして下さい。完了されて、パーティションはこれに類似したに検知する必要があります:



行間のフォワーディングを処理するために 5 Calling Search Spaces を作成する必要があります。各 Calling Search Space にそれで 1 つのパーティションがありますただ。これらの Calling Search Spaces の唯一の目的は 1 つの行から次へコールを転送することです。

たとえば、「行 2」パーティションだけが含まれている 'Line1to2 と呼ばれる Calling Search Space を作成して下さい。それから「行 3」パーティションだけが含まれている 'Line2to3 と呼ばれる Calling Search Space を作成して下さい。この表が示すと同時に 5 Calling Search Spaces があるまでこれをし続けて下さい:

Calling Search Space 名前	Calling Search Space のパーティション
Line1to2	Line2
Line2to3	Line3
Line3to4	Line4
Line4to5	Line5
Line5to6	Line6

またデバイスが互いに問い合わせるように 1 つのより多くの Calling Search Space を作成する必要があります。この例では、Calling Search Space は「電話だけ」と呼ばれます。この Calling Search Space は「行 1」パーティションだけが含まれています。ローカル、LD、および/または

国際ダイヤルのための他の Calling Search Spaces を作成したら、それらのユーザにクラスタの他の IP 電話を呼出せればほしい場合 Line 1 パーティションを含むこと確保でであって下さい。Line 2 から 6 ライン パーティションは他のどの Calling Search Spaces に現われるべきではありません。

電話の設定行

パーティションおよび Calling Search Spaces を作成したら、電話を設定することを続行できます。この資料の設定を使うと、今すべての同じ DN を使うと電話の 6 つまでの行があることができます。たとえば 3 つの行の拡張 15644 を用いる電話がやりたいと思ったら最初にこれでタスクを行うために 3 つの行を備えているボタン テンプレートを、そしてセクション設定して下さい。この例は電話が Cisco Unified CallManager で既に設定され、正しいボタン テンプレートが選択されることを前提しています。

このように結局設定されたなである電話:

```
17:11 07:24:00 9728115644
15644 ☎
-----
15644 ☎
-----
15644 ☎
-----
-----
Your current options
Redial NewCall CFwdAll more
```

最初の行はこのウィンドウで示します設定する必要があります:

Status: Ready

Update Update and Close Delete Restart Devices

Directory Number — changes affect other devices

Directory Number*: 15644

Partition: Line1

Directory Number Settings — changes affect other devices

Calling Search Space: < None >

Call Waiting: Off

Call Forward and Pickup Settings — changes affect other devices

	Destination	Calling Search Space
Forward All		Local
Forward Busy	15644	Line1to2
Forward No Answer	15678	Int
Call Pickup Group	< None >	

Line Settings for this Device — changes affect only this device

この例では、15678 は音声メール パイロット番号です、従って適切な Calling Search Space がそのパイロット番号にアクセスできるように必要となります。例では、「Int」 Calling Search Space は Cisco Unified CallManager に内部すべての DN が含まれています。ここに注意すべき重要な事柄はこの行のためのパーティションが「行 1」であり、前方使用中のための Calling Search Space が 'Line1to2' に設定 されることです。他のパラメータはすべて環境を一致するために設定 することができます。

第 2 行はこのウィンドウで示します設定されます:

Status: Ready

Update Update and Close Delete Restart Devices

Directory Number

Directory Number* 15644

Partition Line2

Directory Number Settings — changes affect other devices

Calling Search Space < None >

Call Waiting Default

Call Forward and Pickup Settings — changes affect other devices

	Destination	Calling Search Space
Forward All		Local
Forward Busy	15644	Line2to3
Forward No Answer	15678	Int
Call Pickup Group	< None >	

Line Settings for this Device — changes affect only this device

第 2 行のために注意すべき重要な事柄はこの行のためのパーティションが「行 2」であり、前方使用中のための Calling Search Space が 'Line2to3 に設定 されることです。他のパラメータはすべて環境を一致するために設定 することができます。

第 3 行はこのウィンドウで示します設定されます:

Status: Ready

Update Update and Close Delete Restart Devices

Directory Number

Directory Number* 15644

Partition Line3

Directory Number Settings

Calling Search Space <None >

Call Waiting Default

Call Forward and Pickup Settings

	Destination	Calling Search Space
Forward All		LD
Forward Busy	15678	Int
Forward No Answer	15678	Int
Call Pickup Group	<None >	

Line Settings for this Device

この行は「行 3」パーティションで設定されます。転送情報が音声メールにどんなに行っても、これが最後の行であるので。より多くの行がほしいと思う場合、これに前方使用中のための 'Line3to4 Calling Search Space が等あります。

注: この電話を他の電話を呼出すことができるようにするためにこのセクションの 3 つの行、またはちょうどこれらの行が設定される電話で「行 1」に配分したアクセスできる Calling Search Space を設定して下さい。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)